

学校法人 高田学苑  
高田短期大学育児文化研究センターだより

# IKUBUN NEWS

第5号 2007.2.15

発行 高田短期大学育児文化研究センター  
〒514-0115 三重県津市一身田豊野 195  
TEL 059(232)2310(代表) FAX059(232)6317

## 「つながる心」「つなげる力」の育成を

このところ学校現場では、いじめによる生徒の自殺問題が深刻な事態を生んでいます。繰り返し行われる悪質ないたずら、言葉やメールによる中傷、存在無視、仲間はずしなど陰湿な方法でのいじめが進行していて、それが原因で犠牲になる生徒が各地で発生し教師も家庭も不安を募らせています。

人間が生きている社会では多少のいじめやトラブルは避けられないのが通常です、しかし、この世に生を受けてわずか10数年しか生きていない小学生や中学生が、なぜこのような悲劇的な人間関係しかつけないのでしょうか。他者と手を結べないかわいそうな子どもや、仲間と気持ちをつなげ一緒に行動することに喜びを感じることを知らないかわいそうな子どもが増えているのだと思います。幼いときから、多少のけんかも結構、多少のいたずらのしあいっこも結構、しかしこれは、根底には「友達と一緒に楽しいね」「友達と仲良くするって気持ちいいね」という感情を十分に体験した上でのお話です。赤ちゃんが集まる「子どもひろば」では、仰向けに寝た赤ちゃん同士が顔を見合わせてニッコリ笑う姿があります。知らない同士のお母さんやお父さんも、参加していく回数を重ねると会話が広がるようになります。これが「つながる心」「つなげる力」の第一歩だと思います。今必要なことは、家庭でも園でも地域でも、子どもたち同士、おとな同士が「つながる心」「つなげる力」を取り戻し、その上で、子どもたちが多少のけんかやいたずらを大いに経験しながらたくましく育っていける環境づくりです。高田短期大学育児文化研究センターもその実現に向けて一役を担いたいと心しています。

平成18年度には、育児文化研究センターは、三重県主催の事業、各市町主催の事業、企業や団体主催の事業等に積極的に参加し、活動を拡大できました。また、「みえ次世代育成応援ネットワーク」にも加わり、さらに地域と密着した活動を展開して参りました。今後とも応援・御協力よろしくお祈いします。

育児文化研究センター長 豊田和子

『「つながる心」「つなげる力」の育成を』	…1頁
平成十八年度重点取り組み 子どもの「未来」を育む地域支援 プロジェクト事業の報告	…2頁
○・一・二歳児のための 「子どもひろば」	…2頁
楽しくおいしい親子クッキング 親子で製作オリジナルトシャツ 親子で楽しむかんたんワークショップ 自然の恵みパウチ作り	…2頁
秋も保育もまっ盛り 楽しい保育を追いかけよう 馬とふれあう親子フェスタ 保育者のためのパソコン講座	…4頁
地域で活躍 後援事業の紹介 定例研究会報告	…5頁
出前講座 研究員の活動紹介	…6頁
問い合わせ・アクセス	…6頁



CONTENT

子どもひろば  
遊びにおいでよ！0歳児さん

## 子どもの「未来」を育む地域支援プロジェクト事業の報告

育児文化研究センターでは、平成 18 年度の重点取り組みとして、「子どもの『未来』を育む地域支援プロジェクト事業」を企画しました。これは、育児事情が非常に困難な時代に、ゆったりした時間を、子育て中の親子に取り戻してあげたい、子どもと付き合うことが心から楽しいと感じられる環境と場を提供したいという主旨で企画したものです。また、地域の教育力活性化をめざして以下の事業を実施しました。どの事業にも育児文化研究センター「子育て応援隊」ボランティアが大いに活躍してくれました。

(詳細はホームページ 高田短期大学 > 育児文化研究センター > 活動内容

<http://www.takada-jc.ac.jp/cgi-bin/cms/ikuji/list.cgi> をご覧ください。)

### (1) 0・1・2 歳児のための「子どもひろば」 <平成 18 年 7 月～12 月に実施>

子育て中の親を対象に、0 歳児と 1・2 歳児に分けて、ベビーマッサージ、親子で運動遊び、リズム遊び、製作活動など、親と子のふれ合いを通してより一層親子の絆を深めてもらうような講座です。「遊びにおいてよ! 0 歳児さん」は、7 月 29 日、10 月 14 日、12 月 9 日、「遊びにおいてよ! 1 歳児さん」は、7 月 1 日、9 月 3 日、11 月 8 日の各 3 回、土曜日の



リズム遊びを指導する榊原研究員

午前中に高田短期大学育児文化室で開催しました。講師は、0 歳児グループを梶美保研究員・今吉久美客員研究員、1・2 歳児グループを榊原尉津子研究員、福西朋子研究員が担当しました。参加者は、

毎回多くの応募があり、6 回の講座で 188 名の親子の参加でした。ボランティアで参加した保育学生も大活躍でした。学生ボランティア数は、延べ 31 名でした。



学生ボランティアも大活躍

### (2) 楽しくおいしい親子クッキング

平成 18 年 7 月 29 日(土) 10 時より、高田短期大学調理実習室にて、親子クッキングが開催され、9 組 25 人の親子が参加しました。メニューは、じゃが餅・五平餅・杏仁豆腐・豆腐白玉と盛りだくさんの内容で、じゃがいもを切ったり、ゼリーの型抜きをしたり、できることにチャレンジしました。「簡単にできる割にはおいしいね」という声も聞かれ、楽しいひとときをすごしました。講師は、駒田聡子客員研究員でした。学生ボランティア 7 名が参加してくれました。



杏仁豆腐を型に入れています

### (3) 親子で製作オリジナルTシャツ

平成 18 年 9 月 24 日、「親子で製作、オリジナルTシャツづくり」が高田短期大学造形演習室で行われました。7 組の親子 17 名が、それぞれ図柄をデザインし、名前を入れたりして自分だけのTシャツづくりに挑戦しました。親子での合作や、留守番のお父さんや妹さんの分の製作など親子で協力しながら工夫をこらして製作していました。講師は、わけびき真澄研究員で、学生ボランティアは 4 名でした。



どんな絵にしようかな・・・

**(4)親子で楽しむかんたんワークショップー自然の恵みパウチ作りー**

平成 18 年 11 月 12 日(日)午後、高田短期大学造形演習室にて、「親子で楽しむかんたんワークショップ」が田中厚好客員研究員を講師として開催されました。親子 13 名が参加し、はじめに和紙の台紙に絵の具で色付けをし、その上から噴霧器で上色をかけ、ドライヤーで乾かして、それから、秋の枯葉などをあしらい、真ん中に写真を入れて、ラミネートすると出来上がり！！ 思い思いのデザインで記念写真のパウチが完成し、みんな大喜びでした。学生ボランティアが 4 名、お手伝いしてくれました。



おとうさんと楽しみながら

**(5)秋も保育もまっ盛り 楽しい保育を追いかけよう**

小さな子どもも参加して・・・

平成 18 年 11 月 18 日(土)午後、高田短期大学体育館で、浦中こういち客員研究員を中心メンバーとするたんこぶポコタンズを講師として「秋も保育もまっ盛り 楽しい保育を追いかけよう」が開催され、保育者・一般および子育て中の親子等 50 名余が参加し、ふれあい遊び、ペープサート、楽しい寸劇等保育の技術を大いに楽しみながら学びました。遠くは京都や名古屋からも保育学生の参加がありました。まさに、秋の保育を充実させ楽しい保育を追いかけるための盛り上がりのある講座となりました。

**(6)馬とふれあう親子フェスタ <平成 18 年度三重県ささえあいくらぶモデル助成事業>**

平成 18 年 11 月 23 日(祝) 高田短期大学馬場とキャンパスを開放して、「馬とふれあう親子フェスタ」を開催しました。参加者は津市・鈴鹿市・伊勢市・桑名市などから約 60 組 200 名の親子・家族があり、うす曇のお天気でしたが、明るく楽しい半日を過ごしてもらいました。馬術部員による馬術演技披露のオープニングから、「ポニーの馬車でのお散歩」「サラブレッド乗馬体験」「ポニーの乗馬とえさやり」遊びのコーナーとして「ロディ君にのろう!」「ボールプールで遊ぼう!」「バルーンでお馬さんづくり」「小動物と触れ合おう」「豚汁ふるまい」など多彩なコーナーでにぎわいました。高田高校生 12 名、高田短期大学生 32 名がボランティアとして参加し、活躍しました。今年から、ポニー馬車が、高田学苑理事長・学苑長の田中和磨先生より寄贈され、本学らしい催しを行うことができました。先生の志に感謝申し上げます。



馬車は初体験!



ロディに乗ってぱかぱか

**(7)保育者のためのパソコン講座**

楽しく学びます

平成 18 年 12 月 17 日(日) 10 時～16 時まで本学 PC 教室で、「保育者のためのパソコン講座」を実施しました。講師は川喜田多佳子客員研究員で、オフィス情報情報学科の学生ボランティア 12 名が講師アシスタントをして、県内各地からの参加者 20 名が熱心に受講しました。午前中は、パソコンの基礎操作から、デジカメによる写真撮影を行い、午後は「園だより」作成に向けてイラストやワードアートによる絵文字の作成などを学習し、皆さん個性的なカラフルな「園だより」を作成することができました。学生さんの指導もすばらしかったです。

## 研究員・客員研究員「子育て応援隊」「バルーン応援隊」の社会における活動

### (1) 絵本ワールド in みえ

平成 18 年 9 月 23・24 日に県立総合文化センターで行われた「絵本ワールド in みえ」に子ども学科学生 5 名が「大型絵本の読み聞かせと歌と身体表現」を担当し出演しました。当日は、定員の倍の親子が参加して、学生たちが演じる「音楽入り絵本の読み聞かせや一緒に行う身体表現に子ども達は大喜びでした。「はらぺこあおむし」の絵本では、子ども達が熱心に聞き入り、学生たちも表情豊かに大きな声で表現できました。「できるかな」の身体表現では、学生の振り付けに合わせて、親子で体を動かす遊びに参加していただきました。この出演には、内藤由佳子研究員、岩附啓子・安藤はるみ客員研究員の協力・指導を仰ぎました。

### (2) うちの技術を伝承します！子どもと本をむすびつける技・子どもの本を広める技

平成 19 年 1 月 13 日（土）に「みえ生涯学習ネットワーク」、「三重県子どもの読書推進会議」主催の交流学習会「うちの技術を伝承します！子どもと本をむすびつける技・子どもの本を広める技」に内藤由佳子研究員とボランティア学生 2 名がパネリストとして参加しました。三重県内から集まった読書ボランティアサークルや子どもの読書推進に関心のあるみなさんの前で、学生たちが幼稚園・保育園実習で実際に絵本の読み聞かせを行った時の様子やその時に感じた課題について報告しました。いくつかの読書ボランティアサークルから今後のイベントへの参加依頼を受けるなど、育児文化研究センターと地域をむすぶ有意義な学習会となりました。



「はらぺこあおむし」を題材として

### (3) バルーン応援隊

昨年の「ひさいっこフェスタ in 2005 - 子育て応援隊によるバルーン夢広場で遊ぼう - 」以来、「バルーン応援隊」が県内各地の催しの場で多彩な活動を展開しました。バルーンをツールとして雰囲気を楽しく、親子と触れ合って活動しています。その一部を紹介しています。

8 月 27 日（日）文部科学省委託事業”子どもの生活リズム向上全国フォーラム in みえ 「早ね・早おき・朝ごはん」からだも元気！こころも元気！”於）四日市市文化会館・四日市市民公園

9 月 22 日（金）三重県仏教保育協会合同参拝 於）高田本山

10 月 22 日（土）健康フェスティバルかわげ 於）津市河芸町河芸保健センター

11 月 10 日・11 日（伊勢 市民活動センター）11 月 25 日・26 日（鈴鹿 職業訓練センター）12 月 2 日・3 日（津 メッセウイングみえ）ダイヤガス祭り

1 月 13 日（土）三重県・みえ次世代育成応援ネットワーク主催次世代応援イベント「子育て応援！わくわくフェスタ」 於）メッセウイングみえ



## 研究員が活動し育児文化研究センターが後援した事業

### (1)子どもパソコン教室（鷲尾敦研究員）

平成 18 年 8 月 7 日・8 日に高田短期大学 PC2 教室において「子どもパソコン教室」を開催しました。テーマは「スクイークでゲームを作ろう」です。講座の企画や運営については『情報ボランティアみえ』の方々と鷲尾研究員とで行い、オフィス情報学科の学生が講師役や子どもの援助者として活躍しました。素敵な作品を作ってくれた子、3 秒という驚異的なスピードでコースを走る車を作った子、素敵なデザインの車を作った子など、みんなで表彰しあい笑顔のうちに散会しました。子どもたちの作品は、子どもパソコン教室のページで見ることができます。<http://washio.takada-jc.ac.jp/users/kodomo/>

### (2)親と子のための音楽あそびひろば（福西朋子研究員）

平成 18 年 8 月 20 日(日)に三重県文化会館の第 1 リハーサル室で「親と子のための音楽あそびひろば」を開催しました。20 組の親子とふれあい歌あそびで遊んだり、うたとピアノによるコンサートでは一緒に歌ったりして楽しいひとときを過ごしました。「音楽を楽しむ子どもの自然な姿がみられた」とか「歌あそびは家でもぜひしてみたい」という嬉しい声もいただきました。福西研究員が企画運営を担当しました。講師は、同研究員、木下和美（高田短期大学こども学科非常勤講師）たんこぶポコタンズでした。3 月 21 日に 2 回目が開催予定です。



多くの家族が夫婦で参加

### (3)親子の絆づくりを育む「ホリスティックアロマベビーマッサージ」（梶美保研究員）

平成 18 年 9 月 2 日、9 月 30 日、10 月 7 日と 10 月 21 日、11 月 4 日、11 月 11 日の 3 日分で 1 クールとし 2 回、高田短期大学育児文化室で、「親子の絆づくりを育む『ホリスティックアロマ ベビーマッサージ』」を開催しました。アロマセラピーの基礎知識を含めたベビーマッサージの講習で実際にベビーマッサージの手法を 3 回連続講座で学びました。アロマ、BGM や食育、ハーブに関する知識も含め、育児相談などのディスカッションも交え進行了しました。梶研究員が企画運営し、講師は、英国 FIA 認定アロマセラピスト西山万里氏、増田久美子氏をお招きしました。



ベビーマッサージの実践

## 定例研究会報告（第 11 回～13 回分）

### 第 11 回

平成 18 年 6 月 12 日(火)16:30～18:00 に高田短期大学第 4 会議室にて、植木存研究員がレポーターで、「児童問題を考える～少子化の捉え方をめぐって～」というテーマで研究会がありました。レポートは、少子化社会の裏にひそむ多くの児童問題を幅広く取り上げた内容で、参加者からの意見や質問も多くかわされました。

### 第 12・13 回

平成 18 年 10 月 10 日(火)16:30～18:00 (第 12 回)と 12 月 18 日(火)16:30～18:00 (第 13 回)の連続研究会でした。第 12 回では、鷲尾敦研究員がレポーターで「考える力を創造する子どもパソコン教室の取り組み」というテーマでパソコンを用いた子どもの成長を促す効果的な関わりについての研究会がありました。楽しい画面を見ながら、パソコンで子どものいろいろな想像力や思考力が広がることがわかりました。継続して報告してもらいたいという要望があったため、第 13 回では、「考える力を創造するパソコン教室の取り組み パート 2」という題で、参加者たちは実際に PC を操作しながら、プログラムすることの楽しさや、難しさを体験的に学びました。

## 出前講座の実施状況

前年度に引き続き 18 年度は 20 名の研究員・客員研究員の協力で 35 講座を開設しましたところ、全部で 47 講座の依頼があり三重県各地に出向いて講座を実施いたしました。依頼先は、幼稚園・保育所等の教育・保育機関をはじめとして、地域の子育て支援センター、県・市・町主催の研修会等で、県内の東西南北の地域から依頼を受け、多様なメニューの出前講座は年々好評を得ています。

## 研究員の活動紹介

### 武川眞固 研究員

私自身は、子どもの人権という視点から、障害をもつ児童や児童虐待、などについて研究しています。児童虐待は、親子間等で起きているのが圧倒的に多く、その社会的、家庭的環境がその背景と原因を作っています。幾つかの事例が現代的な児童虐待の本質を露呈しています。今後どのような有効な手立てや解決方法があるのか、地域社会や家庭の現況を踏まえて考えていきたいと思っています。



### 三宅啓子 研究員

本年度は、教育・保育教職員研修、地域の子育て支援・家庭教育活性化支援事業、家庭教育支援コーディネーター養成講座等に於いて「子育てと音楽」に関する多くのテーマで講演の機会を頂きました。特に「楽しいリズム遊び・歌遊び」を通しての体験学習は、子どもの人間成長にとって音楽と感性教育の大切さを考える機会となりました。現在の保育・子育てに関する課題の多くは、コミュニケーションと感動体験の希薄さが起因していることが多いと思います。今後も、子どもの健やかな育ちのために、「音楽コミュニケーションと音楽感動体験の大切さ」を教育実践研究から教育保育現場、家庭・地域の皆様と考え「子育て支援」の輪を広げたいと思っています。



### わけびき真澄 研究員

とある親子もの作り講座のことです。参加者の皆さんは、子どもが道具を持ち、保護者が手を添えて作業をしていました。それを見て私は「ああ、この子たちは大丈夫だ」と感じたのです。最近道具が使えない、もしくは間違った使い方をしてしまう子どもが多くなっています。危ないからと道具を取り上げては、いつまでたっても彼らは道具を使えるようになりません。実際に道具に触れ、その便利さを体験し、使い方を間違えればどんなに怖いものになるのかを学んでこそ、子どもたちは正しい使い方を覚えます。あの講座で一生懸命鋸を挽いていた子どもたちは、きっと将来道具を正しく使ってくれることでしょう。



### 田中厚好 客員研究員

出前講座「造形遊び」による造形描画指導法、だれもが楽しめる描画造形技法とその指導法で、三重県全域にご紹介させて頂いております。描画、造形指導の中で大切なこと、それは決して大人向きの大人の既成概念の眼で見ず子供の感性を押さえつけないような方法で進めて行かなくてははいけません。「楽しい!!!」「大好き!!!」と言ってくれるような遊びによる描画、造形技法の数々を今後ご紹介させていただければ幸いです。また私は、日展という我が国最大の権威のある美術団体で彫刻家（表現者）として活動しております。昨年「特選」を受賞し、飛躍のある年となりました。今年も（描画、造形）の魅力を一人数でも多くの方々にご紹介できたらと心から想っております。



## センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学育児文化研究センター  
住 所 〒514-0115 三重県津市一身田豊野 195  
高田短期大学  
Tel (059)232-2310 内線 123 番  
Fax (059)232-6317



編集後記  
この一年は、育児文化研究センター研究員・客員研究員「子育て応援隊」が県内各地に活動の場を広げて、多彩な活動を展開しました。着実に地域に定着しつつあることを実感しました。(M・K)